

朝鮮新報に掲載

朝鮮新報の連載〈人・サラム・HUMAN〉に朝青福島県本部 宣伝文化部長を務める李時也トナムのインタビューが掲載されました。(以下引用)

東北初中、茨城初中高を卒業後、福島県の郡山に引っ越した。当時の夢は「プロサッカー選手を育てる名コーチ」だった。その夢を叶えるため、福島でサッカーのコーチを務めながら生活していたが、金銭的に苦しく夢を断念。現在は飲食店に勤めている。ここ数年間で朝青員を倍増させた朝青福島で本部宣伝文化部長を務める。

「今、私たち若手が同胞社会を盛り上げていかないと、福島同胞社会の代が途切れるのではないかという不安があった」という危機感から、朝青本部が打ち出した県内の同胞青年たちを一人でも多くに朝青に網羅する活動に精力的に取り組んだ。明るくユーモアにあふれた人柄は朝青員たちを惹きつけ、常に輪の中心でコミュニティを盛り上げている。

「地元・宮城の同胞や茨城初中高の先生たちなどから頑張っているねとエールをもらって朝青活動のやりがいを感じる」と笑う。朝青本部の常任委員として仕事も増えた。「専従活動家に頼ってばかりではなく、常任委員の各々が力を付けていかないと」(李さん)。

朝青福島では、児童教室や学生会、朝青教室、青商会との福島初中合同美化活動など、様々な取り組みを活性化している。「朝青活動が同世代の同胞青年たちにとって、在日朝鮮人だということを胸を張って生きていくきっかけになれば」と力を込める。「同胞社会のために何ができるのかを試行錯誤して、朝青が持つ力を同胞たちに広めていきたい」。(全)

書籍本紹介

月刊イオの人気連載「18人が語る私とコリアン」が書籍化されました。

1冊1,500円(税込)で販売されています。

申込書は本部にありますので、興味のある方はお知らせください。

もくじ

● 第1章 在日コリアンと出会う

映画監督 山田洋次

力道山夫人 田中敬子

村本大輔×木村元彦

プロサッカー選手 三浦知良

元プロレスラー アントニオ猪木

● 第2章 書く。語り続ける。

ジャーナリスト 伊藤詩織

作家 李琴峰

作家 平野啓一郎

映画監督 森達也

漫画家 ちばてつや など

● 第3章 朝鮮を語ろう

日本体育大学理事長 松浪健四郎

同志社大学教授 板垣竜太

島根県立大学教授 福原裕二 など

20	21	22	23	24	25	26
木	金	土	日	月	火	水
			学生会活動		朝青ゴルフ部 練習	